- 資料1-2
- 県立高等学校の地域課題探究活動等を推進するため、福島県地域学校協働本部が支援する。
- 福島県地域学校協働本部(教育総務課・社会教育課・各教育事務所)が、地域からの連携依頼の窓口 となり、双方向でのマッチング調整を行う(高等学校等の側からの連携の相談は各教育事務所が窓口)。
- 高等学校等への直接の連携依頼は、地域連携担当教職員が窓口となる。
- 必要に応じて教育庁関係課室や各教育事務所等も、高等学校及び特別支援学校の取組を支援する。

## 福島県地域学校協働本部体系 軌道に乗れば 市町村、地域団体、 高等学校 両者で進める 企業、経済団体...等 特別支援学校 連携のアイディアを提案 ふさわしい連携のマッチング 連携のアイディアを提案 ふくしま ふさわしい連携のマッチング 県全体 高校生 各地方振興局 社会貢献活動コンテスト ▋復興支援・地域連携室 高校生地域貢献サミット 各地区 地域本部 県内5地区で開催(各校代表生徒が集結 支援 各教育事務所 **地域課題探究活動**【課題の発見と実践】 各高等学校 情報共有、連絡調整 活動例: 授業の一環・・・模擬選挙、地産地消商品の開発・販売 生徒会活動等・・施設訪問ボランティア、駅周辺美化活動 全教科でAL型授業の日常化【探究スキルの習得】 県本部 ◆「探究スキル」とは?・・・課題への関心・把握・情報収集・考察・ 県教育庁 構想・解決・振り返りの一連の学習プロセスにより身に付く力 ◆目標・・・物事の「見方考え方」を総合的に身に付け、物事の本質 を見極め、自分と社会との関わり方についての理解を深める。 ※AL: アクティブ・ラーニング(主体的で対話的な深い学び)

復興を担うアクティブラーナー育成事業(高校教育課)

地域そのものを学びのフィールドとした体験的な探究活動 を通して、生徒に郷土愛や復興に貢献する志を育成する。

> チャレンジ 子どもが ふみだす 体験活動 応援事業

> > 支援

各教科 の授業